

実践記録

学校/学年	小学校 / 2年	
教科等：単元名	学級活動：パソコンを正しく使おう	
キーワード	ルール マナー	
情報モラル指導モデルカリキュラム表における目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	a: 発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ
	中目標項目番号 中目標項目内容	a1-1: 約束や決まりを守る
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	パソコンを、ルールやマナーを守って正しく使うことができる。	
使用教材	教材名	ルールやマナーを守る
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先(URL等)	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNetモラル」

展開案

	学習活動	指導 評価
導入	1, パソコンを使うときに、どのような約束があったのか話し合う。	どんな約束があったのだろう。 ・パソコン室では走らない。 ・先生の言うことを聞く。 ・勝手にさわらない。 ・勝手に電源ボタンを押さない。
展開	2, 約束を守らなかったためにどうなってしまったか考える。 3, 約束を守らなかった友だちの気持ちを考える。	約束を守らなかったらどうなってしまったのだろう。 ・パソコンにぶつかって壊してしまいました。 ・パソコンが動かなくなってしまいました。 どうして約束が守れなかったのだろう。 ・早くやってみたかったからです。 ・もっとやってみたかったからです。
おわり	4, 本時の感想を発表する。	パソコンを正しく使おうと考えることができたか。 ・パソコン教室での約束を守ろうと思いました。 ・先生の話をちゃんと聞こうと思いました。 ・パソコンを勝手にいじらないようにしようと思いました

授業の成果

- ・パソコン教室での過ごし方がわかった。
- ・パソコンを使うときに、約束を守ろうとする姿が見られるようになった。

指導のポイント・留意点

- ・勝手にパソコンを使うと、壊れてしまったり、おかしくなってしまうたりして他の人に迷惑がかかってしまうことがわかる。